

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 2 部門第 6 区分
 【発行日】平成 18 年 1 月 5 日 (2006.1.5)

【公表番号】特表 2005-511424 (P2005-511424A)
 【公表日】平成 17 年 4 月 28 日 (2005.4.28)
 【年通号数】公開・登録公報 2005-017
 【出願番号】特願 2003-549208 (P2003-549208)
 【国際特許分類】

B 6 5 D 83/44 (2006.01)

B 0 5 B 9/04 (2006.01)

B 6 5 D 83/38 (2006.01)

【F I】

B 6 5 D 83/14 B

B 0 5 B 9/04

B 6 5 D 83/14 A

【手続補正書】
 【提出日】平成 17 年 9 月 21 日 (2005.9.21)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】全文
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】
 【請求項 1】

取付けカップ内に保持され、戻しばねを設けてないことを特徴とし粘性及び半粘性の製品を分与する開放しやすいエーロゾル・バルブ・アセンブリにおいて、

バルブ・ハウジングと、

放出通路を持つ直立の弁棒であって、この弁棒の外壁内に延びこの弁棒の外壁を取り囲む弁棒みぞと、前記弁棒の外壁を貫いて延び、前記放出通路と、前記弁棒みぞとの両方に連通する少なくとも 1 つのバルブ・オリフィスとを持つ弁棒を備えたバルブ本体と、

中心穴を持ち、前記バルブ・ハウジングと前記取付けカップとの間に捕捉され、前記弁棒みぞを囲んでこの弁棒みぞ内に延び、前記エーロゾル・バルブ・アセンブリの作動しない時に、少なくとも 1 個のバルブ・オリフィスを密封するガスケットと、

を包含し、

前記バルブ・ハウジングに、

前記バルブ本体を囲む側壁と、

中心穴と、この中心穴から外方に間隔を置いた複数個の製品送出し穴とを持つ底壁と、を設け、

前記バルブ本体に、

前記バルブ・ハウジングの底壁の中心穴内に下方に延びる下部部分と、

前記弁棒の下方に位置し、前記製品送出し穴を持つ前記バルブ・ハウジングの底壁の上方に位置する外方に延びる中間部分と、

を設け、

前記バルブ・ハウジングの側壁と前記バルブ本体との間の上向きに延びる製品通路が、前記エーロゾル・バルブ・アセンブリの作動時に、前記バルブ・ハウジングの底壁の製品送出し穴から上向きに前記少なくとも 1 個のバルブ・オリフィスと、前記弁棒の放出通路とまで延び、従って前記ガスケットの中心穴を囲む前記ガスケットの部分が前記弁棒みぞにより下方に押され、

前記エーロゾル・バルブ・アセンブリ作動時に、前記ガスカートが前記弁棒みぞから完全にはずれるのを防ぐように、前記バルブ本体の所定の距離の下降運動時に、前記バルブ・ハウジングに係合するための少なくとも１つの行程制限表面を、前記バルブ本体に設け、

前記エーロゾル・バルブ・アセンブリの作動時に前記ガスカートが、前記弁棒みぞに対し上向きに作用し、前記粘性又は半粘性の製品が前記バルブ本体に対し上向きに作用することにより、前記エーロゾル・バルブ・アセンブリが、その作動位置から解放される時に、前記バルブ本体をバルブ閉鎖位置に上向きに動かすようにして成る、開放しやすいエーロゾル・バルブ・アセンブリ。

【請求項２】

前記バルブ本体の少なくとも１つの行程制限表面が、前記バルブ本体の所定の距離の下降運動時に、前記バルブ・ハウジングの底壁に係合する前記バルブ本体の外面の複数のリップから成る請求項１のエーロゾル・バルブ・アセンブリ。

【請求項３】

前記バルブ本体の下部部分が、前記バルブ・ハウジングの底壁の中心穴を貫いて延びる請求項１のエーロゾル・バルブ・アセンブリ。

【請求項４】

前記バルブ本体の下部部分が、中空のベースと、この中空のベース内の内壁とを備え、前記中空のベースに対して粘性及び半粘性の製品が上向きに作用して前記バルブ本体を上向きに付勢するようにして成る請求項１のエーロゾル・バルブ・アセンブリ。

【請求項５】

前記バルブ・ハウジングの底壁は、その中心穴において前記バルブ本体の下部部分からの間隔を狭くして、前記バルブ本体の左右の運動を実質的に防止しながら、前記下部部分を前記中心穴を通過させるようにして成る請求項１のエーロゾル・バルブ・アセンブリ。

【請求項６】

前記バルブ・ハウジングの側壁と、前記バルブ本体との間の上向きに延びる製品通路の少なくとも一部分を、左右に比較的狭い寸法にすることにより、前記上向きに延びる製品通路を通過して流れる粘性又は半粘性の製品の摩擦が作用して前記バルブ本体を上向き付勢するようにして成る請求項１のエーロゾル・バルブ・アセンブリ。

【請求項７】

さらに、製品移送浸漬管を設けてないことを特徴とする請求項１のエーロゾル・バルブ・アセンブリ。

【請求項８】

前記バルブ・ハウジングの底壁が前記バルブ・ハウジングの側壁から内方下向きに傾斜するようにした請求項１のエーロゾル・バルブ・アセンブリ。

【請求項９】

外方に延びる前記バルブ本体の中間部分に、前記バルブ本体の下部部分に向かい内方下向きに傾斜する表面を設け、この表面が製品送出し穴を持つ前記バルブ・ハウジングの底壁の上方に位置することにより、分与時に製品が前記製品送出し穴を通過し、前記表面に衝突し前記バルブ本体を上向きに付勢するようにした請求項８のエーロゾル・バルブ・アセンブリ。

【請求項１０】

推進剤用の第１の区画と、製品用の第２の区画とを持つ多成分エーロゾル容器を備え、前記第２の区画が、前記エーロゾル・バルブ・アセンブリから分与されるべき粘性又は半粘性の製品用の前記バルブ・ハウジングの底壁の製品送出し穴に開口するようにした請求項１のエーロゾル・バルブ・アセンブリ。

【請求項１１】

前記第１及び第２の区画が、前記多成分エーロゾル容器内の可動ピストンによって隔離されている請求項１０のエーロゾル・バルブ・アセンブリ。

【請求項１２】

前記第 2 の区画が、たわみ性の袋である請求項 10 のエーロゾル・バルブ・アセンブリ。

【請求項 13】

エーロゾル容器と、このエーロゾル容器を閉じる取付けカップと、この取付けカップ内に保持され、戻しばねを設けてないことを特徴とする開放しやすいエーロゾル・バルブ・アセンブリと、前記エーロゾル容器内に入れた粘性又は半粘性の製品とを包含するエーロゾル・パッケージにおいて、

前記エーロゾル・バルブ・アセンブリに、
バルブ・ハウジングと、

放出通路を持つ直立の弁棒であって、この弁棒の外壁内に延びこの弁棒の外壁を取り囲む弁棒みぞと、前記弁棒の外壁を貫いて延び、前記放出通路と、前記弁棒みぞとの両方に連通する少なくとも 1 つのバルブ・オリフィスとを持つ弁棒を備えたバルブ本体と、

中心穴を持ち、前記バルブ・ハウジングと前記取付けカップとの間に捕捉され、前記弁棒みぞを囲んでこの弁棒みぞ内に延び、前記エーロゾル・バルブ・アセンブリの作動しない時に、少なくとも 1 個のバルブ・オリフィスを密封するガスケットと、
を包含し、

前記バルブ・ハウジングに、

前記バルブ本体を囲む側壁と、

中心穴と、この中心穴から外方に間隔を置いた複数の製品送出し穴とを持つ底壁と、
を設け、

前記バルブ本体に、

前記バルブ・ハウジングの底壁の中心穴内に下方に延びる下部部分と、

前記弁棒の下方に位置し、前記製品送出し穴を持つ前記バルブ・ハウジングの底壁の上方に位置する外方に延びる中間部分と、
を設け、

前記バルブ・ハウジングの側壁と前記バルブ本体との間の上向きに延びる製品通路が、前記エーロゾル・バルブ・アセンブリの作動時に、前記バルブ・ハウジングの底壁の製品送出し穴から上向きに前記少なくとも 1 個のバルブ・オリフィスと、前記弁棒の放出通路とまで延び、従って前記ガスケットの中心穴を囲む前記ガスケットの部分が前記弁棒みぞにより下方に押され、

前記エーロゾル・バルブ・アセンブリ作動時に、前記ガスケットが前記弁棒みぞから完全にはずれるのを防ぐように、前記バルブ本体の所定の距離の下降運動時に、前記バルブ・ハウジングに係合するための少なくとも 1 つの行程制限表面を、前記バルブ本体に設け、

前記エーロゾル・バルブ・アセンブリの作動時に前記ガスケットが、前記弁棒みぞに対し上向きに作用し、前記粘性又は半粘性の製品が前記バルブ本体に対し上向きに作用することにより、前記エーロゾル・バルブ・アセンブリが、その作動位置から解放される時に、前記バルブ本体をバルブ閉鎖位置に上向きに動かすようにして成る、
エーロゾル・パッケージ。

【請求項 14】

前記エーロゾル容器に、推進剤用の第 1 の区画と、製品用の第 2 の区画とを設け、この第 2 の区画を前記バルブ・ハウジングの底壁の製品送出し穴に開口するようにした請求項 13 のエーロゾル・パッケージ。

【請求項 15】

さらに、製品移送浸漬管を設けてないことを特徴とする請求項 13 のエーロゾル・パッケージ。